

中央大学杉並高等学校 学校通信



さんさん

杉燦

中央大学杉並高等学校

総務部発行

2021年度第1号(通算100号)

<http://www.chusugi.jp>

〒167-0035 杉並区今川 2-7-1

☎03-3390-3175

無断転載禁止・不許複製

59期生 入学おめでとう!

2021年4月8日(木)、中央大学杉並高等学校第59回入学式が本校体育館にて行われました。3月に挙行した56期生の卒業式と同様、4クラスごとの二部制、教職員・新入生・保護者の方(各御家庭より1名)のみの参列、全員マスク着用での実施となりました。新入生は担任教諭に名前を呼ばれると、緊張しつつも誇らしい表情で返事をし、起立しました。323名の中杉生のデビューです。

入学式次第

- 開式の辞
 - 校歌紹介
 - 新入生呼名
 - 学校長式辞
 - 新入生代表宣誓
 - 新入生代表
 - 学年担当教員紹介
 - 閉式の辞
- 校長 大田 美和
- 【第一部】 M・K
【第二部】 N・T



入学式式辞



中央大学杉並高等学校
校長 大田 美和

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。保護者の皆様にも、教職員を代表して心よりお祝い申し上げます。

私は中央大学文学部で英語と文学を教えています。今日は新入生の皆さんに、入学のお祝いとして、勇気と喜びを与える英語の詩の言葉を贈りたいと思います。

My heart leaps up when I behold
A rainbow in the sky.
So was it when my life began;
So is it now I am a man;
So be it when I grow old,
Or let me die!
The Child is father of the Man;
And I could wish my days to be
Bound each to each by natural piety.



日本語に訳してみよう。

私の心は飛び跳ねる
大空に虹がかかるたび
子どものころもそうだった
大人になってもそうなんだ
年をとってもそうだろう
そうでなければ死なせておくれ

子どもは大人の父親なのだ
だから私はいつまでも

自然を敬い生きてゆきたい

英語の詩の韻律を日本語に活かすために七五調で訳してみました。興味を持った人は、授業が始まったら、英語の先生に元の詩と文法的に正しい解釈を教えてもらって下さい。

これは、十九世紀イギリスの詩人ウィリアム・ワーズワスの「虹」という詩です。この詩の The Child is father of the Man という一行はとても有名です。でも、「子どもは大人の父親なのだ」という言葉は、少し変だと思いませんか？ 「大人は子どもの父親なのだ」なら意味がわかりますが、「子どもは大人の父親なのだ」というのは、おかしくありませんか？

ワーズワスの時代、ちょうどフランス革命の頃のヨーロッパでは、それまでは大人より未熟な存在として下に見られていた子どもに対する新しい価値観が生まれました。子どもの頃の純粋な気持ちを、大人は日々の生活の中で失ってしまう。だから、子どものほうが大人よりも優れているのだというような考え方です。

高校に入学した皆さんはちょうど子ども時代を終えて、大人になろうとしていますね。大人を見て、ああはなりたくないと思ったこともあるのではないのでしょうか。とりわけ、去年から今年にかけて、新型コロナウイルス感染症の拡大という未曾有の事態の中で、命よりも経済を優先する大人、弱い立場の人を差別する大人、我慢ができない大人、科学的で冷静な判断ができない大人をたくさん見ればなおさらでしょう。しかし、あなたたちもすぐに大人になります。

学業を終えて社会に出ていくときにどのような大人

になるのか、それを高校と大学の七年間でじっくりと学んで下さい。私は皆さんにものを深く感じることができ、物事を深く考えることができる大人になってほしいと願っています。社会の一員である私たち一人ひとりが、なすべきことをすれば、この社会は少しずつ良い方向に変わっていくのではないのでしょうか。自分を知り、他者を知り、社会の構造、社会の問題について学びましょう。そして、自分が人類の歴史の中でどのような地点にいて、自分が一生をかけて何をすべきなのか考え、自分というものをしっかりと作っていく努力を続けて下さい。たった一度きりの人生をどのように生きるかは、あなた自身の主体的な行動にかかっています。皆さんが高校三年間の学びを通して、大きく成長することを願って、入学式の式辞といたします。

祝辞



中央大学総長 酒井 正三郎

みなさん、こんにちは。総長の酒井正三郎です。

今年も新型コロナウイルス禍の影響により、昨年に引き続き書面によるご挨拶となりましたが、大学の教職員を代表して、ひとことお祝いの辞を申し述べさせていただきます。

まずは、中央大学杉並高等学校に入学された生徒のみなさん、入学おめでとうございます。

みなさんの入学に向けての努力を讃えるとともに、われわれ、高校ならびに大学の教職員一同は新入生のみなさんを、心から祝福し、歓迎をいたします。みなさんが、中杉において、勉強やスポーツ、文化活動などの諸活動に励み、それぞれの夢や抱負が実現できますよう、みなさんを応援していきたいと思

います。
本校修了後、みなさんの多くが進学する中央大学では、大学創立一三〇周年を迎えた二〇一五年に、次の十年を見据えた

「中長期事業計画 Chuo Vision 2025」を策定しさまざまな施策に取り組んでいます。現在二〇二〇年度末までの第一期が終了したところですが、この五年間に、国際経営学部と国際情報学部との二つの学部新設、二〇二三年の法学部の都心移転の決定、グローバル館・国際教育寮・FOREST GATEWAY CHUOの建設など多くの成果をあげてきました。引き続き、グローバル化の推進やスポーツ振興、総合学園構想の実現などを含めて、世界に存在感のある大学を目指して全学をあげて改革を推進していく所存です。

中央大学の草創期とほぼ同時期、明治中期から大正期にかけて活躍したご承知、文豪、夏目漱石。漱石は、「坊ちゃん」や「吾輩は猫である」、「こころ」など、誰でも知っている、人間洞察に富んだ多くの小説とともに、膨大な量の日記を残しておられますが、その中で、文庫版として編まれた「漱石日記」の一節に、次のようなフレーズがあります。本日の高校の入学式に相応しい言葉ですので、引用して、これを皆さんにお贈りしたいと思います。

「真面目に考えよ。誠実に語れ。摯実に行え。汝の現今に播く種はやがて汝の収むべき未来となって表れるべし」（まじめに考え、誠実に語り、ひたむきに実行しなさい。あなたが今まく種は、あなたの未来となって表れる）。

本日、晴れやかな中央大学杉並高等学校の入学式を迎えているという現実、皆さんが過去にまいた種が成長した結果であります。何もないとところから突然現れたというものではありません。花が咲き、実を結ぶには種をまかなければ始まりません。本日の入学式を機に、また将来の自分のために、中杉の豊かな土壌の上で種をまきましょう。本当に実を結ぶのだろうか、と自信を失う時が来ても、この言葉を信じて種をまき続けましょう。みなさんが思い描いている未来に向かい、熱い意気込み、最初に踏み出す一歩、そしてその歩みを止めない忍耐力、これら一つひとつの努力が種となり、必ずや大きく育った未来につながることを思います。そして、3年後、卒業の日を迎える時には、みなさん全員が、今日の入学の喜び以上の充実感、達成感、両手に大きな果実を抱えながら、学窓を巣立っていつてもらいたいと願っております。

みなさんのご健康と、中央大学杉並高等学校での生活が実

り豊かなものとなりますことを心から祈念して、私のお祝いの言葉といたします。頑張ってください。

あらためて、入学、おめでとう。

祝辞



中央大学学長 福原 紀彦

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。新型コロナウイルス蔓延の収束が見通せないなかにあつても、皆さんは入学に向けて努力を積み重ねられました。その健闘を讃え、中央大学杉並高等学校への入学を、中央大学関係者一同、心から歓迎致します。皆さんが、伸び伸びと、勉学、文化、スポーツ、ボランティア等の諸活動に励み、有意義な学校生活を元気に過ごすなかで、いっそう大きな成長を遂げられることを期待致し、皆さんをしつかりと支え、応援致します。

加えまして、新入生のご父母・ご家族の皆さまには、日頃より、新入生であるご子女に、惜しみない愛情とご理解を寄せておられますことに敬意を表しますとともに、入学式をお迎えになりましたことに、心からお祝い申し上げます。ご子女が中央大学の附属学校に入学された機会に、ご父母・ご家族の皆さまにおかれましても、中央大学と附属学校各校の豊富なヒューマン・リレーション・ネットワークに御参加いただき、さまざまな機会に中央大学と附属学校の理念と学風を共有していただくなかで、ご子女のいっそうの成長を見守って戴き、ご支援賜れば幸甚に存じます。

また、杉朋会ならびに後援会の皆様には、本校と本学に対して多大のご理解とご支援を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。今後ともなおいっそうのご支援のほどお願い申し上げます。中央大学は、一八八五年に英吉利法律学校として創設され、以後一三五五年の間、「白門」を象徴とする伝統のなかで総合大学として発展し、「實地應用ノ素ヲ養フ」との建学の精神を社会に実践することを使命としてきました。このことは、今日、「行動する知性。— Knowledge into Action —」を育むというメッセージとして受け継がれており、本校の自主性を尊ぶ校風にも引き継がれています。そうした伝統、建学の精神、校風は、これからの皆さん

を支える大きな力となるでしょう。

「行動する知性」というメッセージにある知性とは、どういうものでしょうか。皆さんは、学校で、さまざまな試験を経るために、いろいろな知識や技能を努力して身に付け、これらも獲得していくことになると思います。それらの知識や技能というものは、一つ一つが、その場限りのものであったり、ときとしてバラバラであったりするかもしれません。しかし、知識と知識が結びつき、知識と技能が結びついて、それらがどんな場面に役に立つかが分かると、知識は単なる知識ではなく、「知性」に変わるといえることができます。そして、知性が自分だけのものではなく、人のため、公共のためのものだという事も知ると、それを社会のために生かそうという「志」が生まれてくるのだと思います。「志」が生まれたとき、知性は眠ったままの知識ではなく、「行動する知性」となるのだと思います。机の上で得た知識、教室の中で身に付けた技術が、試験の点数で評価されるだけでなく、ひとり一人の人生を支え、御世話になった人達を支え、社会を支えるということを実感しておいて下さい。

そして、大学の附属学校で学ぶことの意義と利点を理解し、活用して戴きたいと思えます。中央大学と附属学校との間で、誇るべき一貫した伝統と歴史に支えられ、皆さんは、行動する知性を獲得できるということが、その最大のものではないでしょうか。通常であれば、大学の入学試験と準備のために受験勉強という大きな壁が立ちほだかり、大学で学ぶことが見えませんが、大学での豊かな学生生活に十分な備えができないのですが、中央大学の附属学校では、大学とのさまざまな連携によって、早くから将来に向けた取組ができるというたいへん大きな利点があります。

新入生の皆さんは、これから本校で学校生活を送ることの意義を日々実感されることと思えます。それらをすべて挙げることはできませんが、大きな意義をひとつ挙げるのであれば、それは学校生活と大学生活とが結びつき繋がっていて、それぞれが他方の生活の質、クオリティー・ライフを高めてくれるということだと思います。学校と大学とが結びつき繋がっていると、大学生活まで視野に入れて充実した高校生活を送ることができ、それゆえに大学生活が高校生活の成果のお陰で充実

することになります。

中央大学では、中長期事業計画として、Chuo Vision 2025を策定し、この四月から、その後半五カ年の取組をまとめた第二期計画が開始します。そのなかでは、総合学園構想というテーマがあり、大学と附属学校が連携して、未来社会に活躍する皆さんの成長をしつかりと支援することが謳われています。中央大学では、AI・データサイエンスセンターとELSIセンターを新設し、どの学部も学生に対してもAI・データサイエンス教育を実施します。また、この四月には、Forest Gateway Chuoと名付けられた多摩の新棟と教育力研究開発機構をオープンし、新しい学びの施設と仕組みを創造していきます。黒板やホワイトボードがなく壁のどこにもアイデアを書き込める教室！立体的な空間に机を置かないで議論中心の授業を実施する教室！バーチャルリアリティやオンラインを活用したディスプレイを備える空間！太陽光発電による電力でコンピュータ端末やスマホを駆動させ、デジタル掲示板での情報伝達！DX時代に相応しいワクワクした施設が完成しています。ダイバーシティセンターが設置され、また、SDGsの取組も前進します。中央大学の附属学校の生徒の皆さんにも、全国のどの中学校・高等学校にも先駆けて、その成果を提供できるように努めたいと思えます。どうぞご期待下さい。

皆さんには、中央大学との連携をはかる機会には、積極的に参加され、また、中央大学の各キャンパスにも訪れていただきたいと思えます。確固たる建学の理念のもとに、皆さんの資質と能力、そして知性を磨き高めることのできる中央大学と本校の学修環境を、思う存分に活用していただき、そうして、皆さんの本校での生活の質がいっそう高まることを期待致します。また、私達も、杉並高校のさまざまな催しで、一緒したいと思っております。

新入生の皆さんは今、将来のさまざまな可能性と出会い、夢と希望をふくらませてくれる本校に入学されました。これからさまざまな出会いによる将来への可能性と

出会い、夢と希望をふくらませてくれる本校に入学されました。これからさまざまな出会いによる将来への可能性を大切に、「自分の頭で考え、自分の心に想い、自分の身体で感じて、知性をもって勇敢に行動する」人生を歩んで下さい。その一步を本校で始めることを期待します。

皆様のご健康とご発展を心から祈念して、お祝いの言葉と致します。本日は、入学おめでとうございました。

新入生宣誓（第一部）

新入生代表

M・K

暖かな春の訪れと共に、私たちは無事に中央大学杉並高校への入学式を迎えることができました。本日は、このような素晴らしい入学式を行っていただき、本当にありがとうございます。昨年から本格化した新型コロナウイルスの感染拡大という厳しい状況の中で、無事に入学式をしていただけたのは、先生方の工夫や努力のおかげだと思います。

私が中杉に入学したいと思ったのは、中学二年生のときに見学した文化祭がきっかけです。いろいろな出し物に参加させていただく中で、中杉の先輩方がとても仲がよさそうに楽しそうだと感じました。特に、音楽部や吹奏楽部の演奏は素晴らしく、自分も大きなステージで先輩方のように演奏したいと思いました。いくつかの高校の文化祭を見学しましたが、このようなことを一番強く感じたのが、中杉の文化祭でした。

中杉に入学したいと思った私は合格を目指して受験勉強に励んでいましたが、昨年の春に緊急事態宣言が発令され、中学校が休校になり、塾もリモート授業になってしまいました。そのような非日常の中、なかなか勉強のリズムが作れず、ついつい勉強を怠ってしまう日もありました。しかし、それでも中杉に入学したいという気持ちで頑張り、入学できたことをとてもうれしく思っています。

これから中杉に入学し、勉強や部活を頑張り、またたくさんの方の友達を作り、私が文化祭で感じたような中杉の良い

雰囲気、夢と希望をふくらませてくれる本校に入学されました。これからさまざまな出会いによる将来への可能性を大切に、「自分の頭で考え、自分の心に想い、自分の身体で感じて、知性をもって勇敢に行動する」人生を歩んで下さい。その一步を本校で始めることを期待します。

霧囲いを、私たちが引き継いでいけるよう努力したいと考えています。そのために先生方にもお力を貸していただきたくです。温かく、そして時に厳しくご指導していただきますようよろしくお願いいたします。

新入生宣誓（第二部）

新入生代表

N・T

暖かな春の訪れと共に、私たちは中央大学杉並高校の一年生として入学式を迎えることができました。本日は、入学式を行うことが難しい状況の中で、午前と午後に分けてではありますが、入学式を開いていただき、ありがとうございます。この入学式により、高校生活への期待がさらに高まりました。

私が高校生活の中で楽しみなことは、体育祭や文化祭などの学校行事です。中学校と比べて、在籍人数が多く、クラスはハクラスあるため、実際には見たことがありませんが、各行事がとても盛り上がると思います。私は中学で、皆が一致団結をし結果を残すことが出来たという体験をしています。このような体験をさらに大きな規模の行事ですることが出来るのかと思うと、楽しみで仕方ありません。しかし、今年度は新入生オリエンテーションの実施形態が変更されたように、学校行事が例年通り行われないかもしれません。そのようなことになってしまっても、一年生同士で励まし合い、前を向いて、ポジティブに生活していきたいと思えます。

私には高校生活の中で楽しみにすることがもう一つあります。それはクラブ活動です。私がこの学校への入学を志望した理由の一つに思考ゲーム研究があったことが挙げられます。ボードゲームをするためのクラブがある

のかと衝撃を受けたのと同時に、このクラブに入りたいと思います。なぜなら、私はよく考えて、頭を鍛えられるクラブに入りたかったからです。その私の希望を満たした思考ゲーム研究会はとても魅力的に感じました。今から思考ゲーム研究会に入ることにとてもワクワクしています。私はそこで私と同じ志を持った友だちと互いに励まし合いながら、部活動に取り組んでいきたいと思えます。

最後に、校長先生や先生方、お祝いの言葉をたくさんかけていただき、ありがとうございました。私たち新入生一同は、皆様の期待以上に成長できるよう、努力をします。先生方には、温かく、厳しい目で見守っていただけると幸いです。



教職員紹介

※（ ）内は担当科目です。

※ 5月下旬に配布される『学校要覧』もご覧ください。



校長 : 大田美和
副校長 : 谷内田一郎
教頭 : 山田篤史(3年・地理特論)

教務部主任 : 梅田洋一 (2年・物理基礎)
総務部主任 : 鈴木章弘 (1年・国語総合、3年・論文、小説講読)
生徒部主任 : 櫻井公博 (2年&3年・男子体育)

	1年	2年	3年
学年主任	及川ゆき ※兼4・6・7組副担任 (1年・コミュニケーション英語Ⅰ)	小泉尚子 ※兼1・5・8組副担任 (2年・現代文、3年・論文、小説講読)	加藤将昭 ※兼2・4・6組副担任 (3年・数学Ⅲ、教養数学)
1組	山崎尊 (3年・物理、物理実験+演習)	石川茂典 (1年&2年・女子体育、2年・保健)	後藤大祐 (2年&3年・男子体育)
2組	岡田輝子 (1年・数学Ⅰ、2年・数学Ⅱ)	富澤真紀 (1年・音楽Ⅰ、3年・選択音楽)	前野桃子 (3年・コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅱ)
3組	新嶋聡 (1年・政治経済)	滝澤孝 (2年・コミュ英語Ⅱ、英語表現Ⅱ、3年英会話)	生田研一郎 (2年・社会と情報、3年選択情報)
4組	町田明弘 (1年・生物基礎)	大塚圭 (2年・コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅱ)	菅井恵子 (3年・コミュニケーション英語Ⅲ)
5組	武田一孝 (1年・数学A)	家本繁 (2年・数学B、3年・数学Ⅲ)	菊地明範 (2年・古典、3年・古典、論文)
6組	池田尚子 (1年・国語総合、3年・論文、小論文講座)	土井ゆかり (2年・コミュニケーション英語Ⅱ)	玉田香苗 (1年・保健、1年男子&3年女子体育)
7組	飯田裕子 (1年・コミュニケーション英語Ⅰ、英語表現Ⅰ)	新井原博嗣 (1年・化学基礎、3年化学演習)	佐藤 功 (3年・倫理、現代社会論)
8組	山田恒平 (1年・体育、2年・保健)	辰見憲 (2年・数学Ⅱ)	影山彰 (1年・化学基礎、3年・化学)
9組	🌀	🌀	駒ヶ嶺泰暁 (3年・現代文、論文、書いて味わう古典)
10組	🌀	🌀	大山裕隆 (3年・コミュニケーション英語Ⅲ、英語演習)
副担任	柄 浩司 ※2・3・5組副担任 (1年・地歴基礎、2年・日本史、3年・戦後世界)	大館瑞城 ※2・4組副担任 (2年・現代文、3年・論文)	重枝一弘 ※3・5組副担任 (1年&2年・世界史B、3年世界史特論)
	松井雄志 ※1・8組副担任 (1年・国語総合、2年・現代文、3年・論文)	榎本幸一 ※3・6・7組副担任 (1年・地歴基礎 2年・日本史)	垣塚菜生 ※9・10組副担任 (3年・英語表現Ⅱ、英語演習)
	🌀	🌀	原空留未 ※1・7・8組副担任 (2年・古典、3年・現代文、論文)
保健室	岡村有希・仲野玲央	スクールカウンセラー 小林道代	校医 佐藤清貴

事務室	事務長 : 佐々木 文昭
	課長 : 宮崎 賢
	副課長 : 岸野俊一朗・隅田美智子
	事務職員 : 浅野ひかり・青山香織
	図書室 : 鈴木万梨子

【出向中】 齋藤 祐(国語科) ⇒中大附属中[小金井]〜(4年目)

副校長・教頭・事務長より

今年度より谷内田一郎教諭(数学科)が副校長に、山田篤史教諭(地歴公民科)が教頭に就任、また、佐々木文昭新事務長が着任いたしました。

読書のすゝめ

副校長 谷内田 一郎

昨年の3月上旬から一向に収束の兆しが見えないコロナ感染。「一寸先は闇」ではなく「一寸先は光」という気持ちで「新しい日常」を創り出している生徒は良いのですが、ともすれば気持ちが塞いでしまう人は、今は人生万事塞翁が馬という心持ちで自分の資質を高めようと読書する習慣を身につけ、少しでも心を充足させる機会を設けてはいかがですか？木田元(中央大学名誉教授)著『技術の正体』のような書物を読み耽って、洞察力を高めるのも良いでしょう。一方で、読んだだけでは資質向上には繋がらないが実学的な知識が得られる本を読んでもみるのも一手です。例えば、塚本亮著『頭が冴える！毎日が充実する！スゴい早起き』などは、今の自分の習慣を変えたい人には実際に取り組みやすい方法を紹介した本になるかもしれません。

38年間本校に奉職している私から見ると、中杉生は誠実で基本的に地頭が良いと感じています。あとは、その資質をいかに気持ち良く発揮できるかだけの問題だと思っています。早起き・勉強・運動・読書の4つの習慣は、この点で中杉生におすすめです。この本は、その習慣を身につけるきっかけになるかもしれません。もちろん、読みたい本があればそちらを優先してくださいね。皆さんにすべての良き事が雪崩のごとく起きますように！

新たな中杉へ

教頭 山田 篤史

この4月から教頭となりました山田篤史です。今年度、本校では、副校長、教頭、教務部主任、生徒部主任が交代し、新しい体制となります。中杉のこれまでの伝統を守りつつ、新しいことにも貪欲にチャレンジしていきたいと思っています。中杉独自のSDGs宣言も発出され、一人一人が身近な問題をはじめ、社会や世界の諸課題に働きかけ行動する学校をめざします。皆さんは、何のために学ぶのか、自分に何ができて何ができないのかを意識して、これからの学習や体験活動に力を入れていってください。高校時代に中杉で学んだこと、身につけたことが、これからの皆さんの人生において「大事な核」になることを願っています。

壺花の美しさ

事務長 佐々木 文昭

この4月に事務室に着任いたしました。本学に入職して34年目を迎えます。

これまで、総務・管財といった法人から、学部・学生部のような教学部門までを歩んで来ましたが、高校の勤務は初めてとなります。今日は着任2週間を経たところですが、未だに大学との立場・職務の違いに戸惑いながら慌ただしい日々を過ごしています。

今月8日に入学式が挙行されましたが、先生方の手づくり感とステージに飾られた美しい壺花は、新入生への温かさに満ちた、とても印象深いものでした。壺花は華道部の作品とのことでしたが、それは見事な色彩で輝いていました。

たった一日の行事でしたが、この学校の先生方と生徒たちの自然な姿に触れて、ここがどのような学校かわかったように思います。

新入生の皆さんには明るい学校生活が待っている、そう思います。



新任教員より

今年度より4名の先生方が中杉の各学年スタッフとして加わりました。

どうぞよろしくお願いいたします！

1学年スタッフ 松井 雄志(国語科)

松井雄志です。1年生国語総合(古典)、2年生現代文、3年生論文、野球部の担当です。

私はアンドレ・ケルテスという写真家の『読む時間』という写真集が好きです。読むことに心奪われる人々を撮った写真です。いつのどこで撮影したかを記しているのも好きなところ。谷川俊太郎さんによる巻頭詩も魅力的です。一部引用します。

あなたの目は文字に沿って動いていきます/あなたの指が紙をめくります/そよ風があなたの頬を撫でていますが
でもあなたはそれに気づきません/あなたは本を読んでいます

熱中していることについて生き生きとおしゃべりするのは楽しいですね。みなさんが熱中していることなんかを話題に、ぜひお話ししましょう。

2学年スタッフ 榎本 幸一(地歴公民科)

今年度から着任しました地歴公民科の榎本幸一です。日本史を中心に皆さんの授業を担当します。

歴史を学ぶということは私たちが生きるこの社会を学ぶことだと思っています。差別や紛争、貧困など私たちを取り巻く様々な諸問題の本質を歴史から学び、その解決策を考えることができます。また、現代とは異なる価値観や人々の生活に触れることで初めて、現代社会を相対化して捉えられるようになるのだと思います。

皆さんと一緒に歴史を学び、未来を語り合えることを楽しみにしています。皆さんにとって有意義な時間になるように努めますので、これからどうぞよろしくお願いいたします。

3学年スタッフ 垣堺 菜生(外国語科)

今年度から3年生の英語を担当させて頂くことになりました、垣堺菜生(かきざかいなお)です。

グローバル化が急速に進展する現代社会では、英語運用能力の習得は不可欠です。しかし、英語の4技能だけでは不十分であり、異文化理解能力(Intercultural Competence)も重要なスキルであるとされています。なぜなら、異なる文化に対する誤解や理解不足は、コミュニケーションにおける衝突を生む危険性があるからです。

私は皆さんに、4技能だけでなく異文化理解力も身につけてもらえるよう、全力でサポートしていきたいと思っています。一緒に楽しく勉強しましょう！よろしくお願いいたします。

3学年スタッフ 原 空留未(国語科)

今年度から国語科の教員として勤務をします、原 空留未(はら くるみ)です。私は「言葉」が好きです。話すことが好きです。好きだからこそ考えることは、対話の難しさについてです。どんなに詳細に伝えても、全てが伝わることはありません。しかし私たち人間は言葉の伝達によって発展してきました。これからはきっとそうであると思います。であれば、他者を受け止め理解する努力をしたほうがいい。対話には、論理を追う力や適切な言葉選びが必要です。それらの力は、国語を通して学ぶことができます。将来、自分自身の「言葉」で世の中を渡っていけるよう、これから一緒に学んでいきましょう。



活動報告

1年生・校内オリエンテーション

4月12日・13日にかけて、本校で1年生対象のオリエンテーションが行われました。コロナの影響で例年行っている合宿形態ではありませんでしたが、担当教員が工夫を凝らし、様々なプログラムが用意され、楽しく学び多い2日間となりました。新入生の感想をご紹介します。

～2日間の主な内容～

【1日目】

- ◎中杉&中大を知る
 - …生徒心得・中大推薦基準・総合探究・中央大学について等の説明を聞く
- ◎防災講話・SNS講話
 - …防災の心構えやSNSに関する注意を聞く
- ◎レクリエーション
 - …バースデイ・サークル作りや「中杉二大クイズ王(山崎・新嶋教諭)」によるクイズ大会

【2日目】

- ◎学カリサーチ
 - …国語・英語・数学テスト 各1時間
- ◎ホームルーム
 - …自己紹介、クラスでの親睦を深める etc.



学年主任の先生のお話を聞いて、中杉にはたくさんの挑戦できるチャンスがあるので、どんどん挑戦し、「真善美」を兼ね備えた人に成長していけたらと思いました。また、あいさつは、「自分から、大きな声で」を心がけたいと思いました。(女子)

SNSを利用するにあたって気を付けるべきことの話聞いた。現在、簡単に個人情報が出てしまう程とても便利な時代になってきているので、より一層注意深く使っていけないといけないのだな、と改めて感じた。そして、友達にメッセージを送るときは、相手の気持ちをよく考えて、誤解されないよう気をつけようと思った。(女子)

クラスでの自己紹介ではコロナ禍のためマスクをしていてクラスの人顔が見えないという理由のもと、最初にマスクを外し、一言も喋らずに顔を見せてから自己紹介を始めていました。コロナウイルスのため様々なことが制限をかけられている中、コロナのせいばかりにするのではなく、状況を受け入れ、どう工夫していくか考える力がこれから大切だと思いました。委員決めはこれからなのですが「迷ったらとべ!」という言葉の通り、積極的に立候補していきたいです。(男子)

青空に描かれたスマイルマーク

昨年度の「オンライン入学式」に祝辞を寄せて下さいました、本校26期卒業生であるエアロバティックパイロット・室屋義秀さんが、3月31日に都内各所の上空を飛行しスマイルマークを描きました。

この日は快晴。大きな笑顔が鮮やかに青空に刻まれました。本校では屋上で室屋さんの頭文字「M」を作り、先輩の荻窪上空訪問を歓迎しました。室屋さんも「M」に気づいて下さり、自身のTwitterで中杉生の人文字が見えたことを報告して下さいました。



行事予定

※ 夏休み明けまでの日程です。社会状況により日時、内容は変更になる場合があります。

5月6・7・10日(木・金・月)	学年別球技大会 6日:2年、7日:1年、10日:3年	感染予防対策を徹底した上で実施します。競技種目はバレーボール、バスケットボール、サッカーです。(雨天の場合は各予備日に順延します。)
5月8日(土)	3年生・ケンブリッジ英検	結果は成績Cとして算入されます。1・2年生はこの日、自宅学習となります。
5月12日(水)	1年生・荻窪警察講演(6限)	荻窪警察署生活安全課の方をお迎えし、薬物被害についてのお話を聴きます。
5月12日(水)、26日(水)	総合探究「ミャンマーで何が？」	有志参加。38期の竹谷さん(国際協力基金ヤンゴン日本文化センター勤務)が来校します。
5月19日(水)	自宅学習日	教職員健診のため、生徒は登校禁止です。一斉テストに備えてください。
5月20・21日(木・金)	一斉テスト	21日午後は防災訓練を行います。 テスト科目は以下の通りです。 1年生 国語総合、地歴基礎、世界史B、数学I、数学A、 生物基礎、化学基礎、コミュ英語I(8科目・8時間) 2年生 現代文&古典、世界史B、日本史、数学II、数学B、物理基礎、 コミュ英語II(8科目・7時間) 3年生(文) 現代文、古典、日本史B、戦後世界、コミュ英語III、教養数学(6科目・6時間) 3年生(文理) 現代文、数学III甲・乙、物理、化学、コミュ英語III、戦後世界(6科目・7時間)
5月24日(月)～6月1日(火)	後援会総会	今年度は書面開催と致します。ご協力よろしくお願い致します。
5月28日(金)、6月11日(金)	2年生・普通救命講習会	昨年度休校で行えなかった分の講習です。2年生全員が受講します。
5月31日(月)、6月14日(月)	1年生・普通救命講習会	東京消防庁荻窪消防署のご協力のもと、1年生全員が受講します。
6月16日(水)	ようこそ卒業生(6限)	様々な大学・学部に進学した卒業生が、大学生活について語ります。
6月23日(水)	3年生・主権者教育(6限)	中央大学内主権者教育団体「Vote at Chuo!」による企画です。
7月1・2・3・5・6日 (木・金・土・月・火)	期末試験	原則として、1日2～3科目実施されます。テスト1週間前からクラブ活動禁止です。試験終了翌日から答案返却日までは自宅学習期間となります(クラブはあります)。
7月6日(火)	緑苑祭準備解禁	この日から大道具作成以外の緑苑祭準備が解禁になります。
7月7日(水)	3年生・校外学年研修	昨年度の研修旅行代替企画。箱根にて宝探しを行う予定です。要出席日です。
7月8日(木)	中央大学創立記念日	中央大学は1885年に創立されました。この日が創立記念日として休みになります。
7月9日(金)	1年生・校外オリエンテーション	親睦を深めることを目的とし、鳴沢にてロゲイニングを行う予定です。要出席日です。
7月9日(金)	2年生・校内ピアノコンサート	富澤教諭とゲストの方々によるコンサートを行います。要出席日です。
7月13日(火)	芸術鑑賞教室	国立劇場で歌舞伎を鑑賞します。現地集合現地解散。要出席日です。
7月16日(金)	答案返却日	期末テストの全ての答案が返却されます。返却後、よく復習をしておきましょう。
7月19日(月)	終業式、保護者会	終業式の後、HRで通知表を渡します。保護者会でも通知票コピーをお渡しします。
7月25日(日)～28日(水)	屋久島研修	土曜講座の事前学習を受講している生徒が実地研修をします。
7月末～(9月末迄開催予定)	中大オープンキャンパス	各学部の様子が分かります。今年もweb開催となりました。積極的に視聴しましょう。
8月23日(月)～28日(土)	夏期学習講座	有志参加の講座です(指名される場合もあります)。1学期に事前申し込みをします。
9月2日(月)	始業式	9:40HR着席、10:00始業式開式です。

編集部より おかげさまで本通信も100号を迎えました。今年度もどうぞよろしくお願い致します。(小泉・池田)